

営農経済部 稲作 特別情報

広島県より7月25日付で「病害虫発生予察情報注意報第1号」

斑点米カメムシ類の注意報が発表されました！！

◆ カメムシ類による被害について

今後の気象予報から、カメムシ類の増殖に好適な条件が続く予報で、水稻における被害拡大が懸念されます。カメムシが出穂した籾を吸汁することで、斑点米が発生し、米の品質低下につながります。

また、近年では籾を不稔にする**イネカメムシ**が南部地域を中心に発生していますので、注意してください。籾基部を吸汁し、籾が不稔（穂が立ったまま）となり、大幅な減収につながります。

◆ 発生が予想されるカメムシ類



▲アカスジカスミカメムシ



▲クモヘリカメムシ



▲ホソハリカメムシ



▲イネカメムシ成虫

◆ 対策のポイント

■出穂期直前の草刈りは、斑点米カメムシ類の水田への侵入を助長し被害を増加させる恐れがあるため、草刈りは出穂の2週間前までには終えておきましょう。

■穂ばらみ期と穂そろい期の2回の基幹防除を徹底しましょう。

《1回目》 穂ばらみ期（出穂の7日前頃）

《2回目》 穂そろい期（8～9割出穂した頃）

また、発生に応じて追加防除（2回目の防除から7～10日後）を行いましょう。

※農薬については「令和7年 JA広島市稲作ごよみ」を参照ください。
（広島版10～11ページ、安佐山県版16～17ページ）

「基本防除」、「随時防除」を徹底し品質・収量の維持に努めましょう！

こまめに水分補給し、熱中症には注意して作業を行ってください。

